

(国・公・私・株式会社立高等学校)

平成30年度 インターンシップの実施状況等調査票(高等学校調査用)

〈調査について〉

- 生徒が実際的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義を理解し、主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲などを培うことのできるインターンシップは、より一層大切になってきています。
- インターンシップの充実を目指すためにも、現在の実施状況をお知らせください。
- お知らせいただいた実施状況は、インターンシップの充実に向けての基礎資料として利活用して参ります。(※学校名が公表されることはありません。)
- 本調査内容に不明点等がございましたら、下記の担当宛てまで御連絡ください。
- 記入後は、速やかに、所管の事務主管課に御提出くださるようお願いいたします。

(担当)
国立教育政策研究所
生徒指導・進路指導研究センター企画課指導係
TEL:03-6733-6882
FAX:03-6733-6967
E-mail: scenter@nier.go.jp

※ 赤色・黄色で着色された箇所に記入してください。

(様式4)

※ 各学校においては、全日制・定時制・通信制ごとにお答えください。

※ 学科を複数設置している学校では、必ずそれぞれの設置学科別に記入してください。

(※「普通科」「農業に関する学科」等の大分類の単位で回答してください。(小分類の単位での回答ではないので注意してください。))

(全日制用)

平成30年度 インターンシップの実施状況等調査票(高等学校調査用)

学校名※								
所在地		都・道府・県		市・区・郡				
区分	全日制	学科名(複数回答不可)						
学科区分 (当該学科の学科区分として、当てはまる数字の欄に○をしてください。 (複数回答不可))	1. 農業	2. 工業	3. 商業	4. 水産	5. 家庭	6. 看護	7. 情報	8. 福祉
	9. その他の専門学科	10. 普通科	11. 総合学科	/				
連絡先電話番号				E-mail				

※(学校名記入例)【国立】…国立大学法人○○大学附属○○高等学校 【公立】…○○県立○○高等学校
【私立】…○○学校法人○○学園○○高等学校 【株式会社立】…株式会社立○○高等学校

●本調査はキャリア教育の観点から見たインターンシップの実施状況等を調査するものです。

キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」のことを指します。

(中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」(平成23年1月31日))

●インターンシップとは、「産業の現場などで生徒が在学中に自分の学習内容や進路などに関連した就業体験をする」ことです。

「衛生看護科」の臨床実習などもインターンシップに含めるものとします。(見学のみの場合は対象としません)

1 インターンシップの実施状況(平成30年度)等に関し、学年別に回答してください。

(1) 実施状況

下記ア、ウ～オについては該当する人数を、イについては該当する場合に○印をつけてください。

○アについて、インターンシップを実施していない学年も記入してください。

○ウの体験した生徒数を記入する欄について、当該年度でインターンシップを実施していない学年、体験した生徒がいなかった場合には、「0」を記入してください。

○エの生徒数について、平成30年度における3年生について、入学してから1度でもインターンシップを体験したことがある生徒数をカウントしてください。

よって、3年生の「アのうち、当該年度中に体験した生徒数」より少なくなることはないので、御注意ください。

○各学年の、ウとオの合計人数は必ず一致するようにしてください。

ア、エに0を入力する場合は理由を選択			担当者確認欄(※記載不要)	
	ア	エ	①平成30年度実施学科	②確認事項
1年生	0の理由を入力して下さい。	/		
2年生	0の理由を入力して下さい。	/		
3年生	0の理由を入力して下さい。	0の理由を入力して下さい。		

30年度インターンシップ実施状況											
学年	ア 学科在籍生徒数 (平成30年5月1日現在)(人)	イ 単位認定 (該当する場合は○印)	ウ アのうち、当該年度中に体験した生徒数(人)	エ アの3年生で、 在学中に1回でも体験した生徒数(人)	オ ウの生徒が体験した日数						
					1日(人)	2～3日(人)	4～5日(人)	6～10日(人)	11～29日(人)	30日以上(人)	合計(体験生徒総数)(人)
1年生				/							0
2年生				/							0
3年生											0
合計	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0

※同一学年で年度内に複数回実施している場合は、その期間を合算してください。

※実際に事業所等で行う体験活動を対象とし、事前・事後指導等は含めないでください。

- (2) インターシップの教育課程等への位置付けの状況等
 下記A~Hについて、ア、イのどちらか該当する欄に○印をつけてください。

教育課程等への位置付け	学年・参加形態					
	1年生		2年生		3年生	
	ア 原則として全員参加	イ 選択・希望者等の一部の生徒が参加	ア 原則として全員参加	イ 選択・希望者等の一部の生徒が参加	ア 原則として全員参加	イ 選択・希望者等の一部の生徒が参加
A 現場実習等教科・科目の中で実施している (Cの場合は除く)						
B 「課題研究」の中で実施している						
C 学校設定教科・科目で実施している						
D 総合的な学習の時間で実施している (Fの場合を除く)						
E 特別活動で実施している (Fの場合を除く)						
F 総合的な学習の時間における学習活動をもって相当する特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施に替える						
G 「学校外における学修」として実施している						
H 教育課程に位置付けずに実施している						

※A~Hの2つ以上に該当する場合は、その全てに○をつけてください。インターシップを実施していない場合は記入不要です。

※実際に事業所等で行う体験活動を対象とし、事前・事後指導等は含めないでください。

2 インターシップの実施状況(平成30年度)等に関し、事前指導・事後指導について、学年別に回答してください。

- (1) 事前指導・事後指導にかかる時間について
 下記①②について、該当する時間数を記入してください。

内容	学年		
	1年生 (時間)	2年生 (時間)	3年生 (時間)
① 事前指導にかかる時間			
② 事後指導にかかる時間			

※事前指導・事後指導を実施していない場合、及びインターシップを実施していない場合は、「0」を記入してください。

※事前指導・事後指導にかかる時間に、体験生徒数を合算しないでください。

- (2) 事前指導・事後指導の内容について
 下記aのア~エ及びbのア~オの項目の中で、実施しているものに○印を(複数回答可)、実施しているものの中で最も重視しているものに◎印をつけてください。

a. 事前指導の内容について

事前指導の内容	学年		
	1年生	2年生	3年生
ア インターシップの目的を設定・確認させる指導(学年集会等を含む)			
イ マナー指導(礼儀作法や挨拶の方法、電話のかけ方の指導等)			
ウ 社会人講話等でインターシップの理解を深めさせる指導			
エ 教科や学校生活等でこれまで学んだことをインターシップにつなげる指導			

※事前指導を実施していない場合は、記入は不要です。

b. 事後指導の内容について

事後指導の内容	学年		
	1年生	2年生	3年生
ア 報告書やレポートの作成などインターシップを評価させる指導			
イ 発表会やポスターセッションなどインターシップの成果を共有させる指導			
ウ インターシップの経験をこれからの教科や学校生活につなげる指導			
エ ポートフォリオ等を活用して、インターシップの経験を卒業直後の進路選択につなげる指導			
オ インターシップの経験をこれからの生き方につなげて考えさせる指導			

※事後指導を実施していない場合は、記入は不要です。

調査項目は以上です。本調査に御協力いただきありがとうございました。